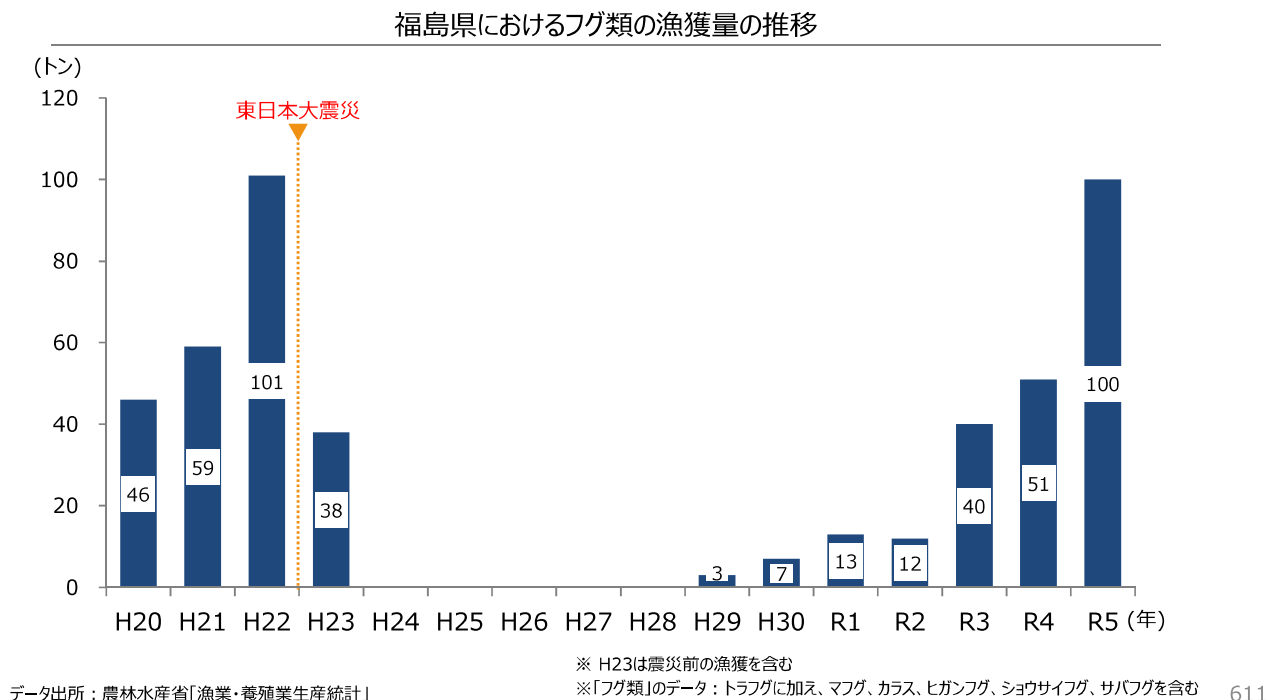


福島県におけるフグ類の漁獲量の推移

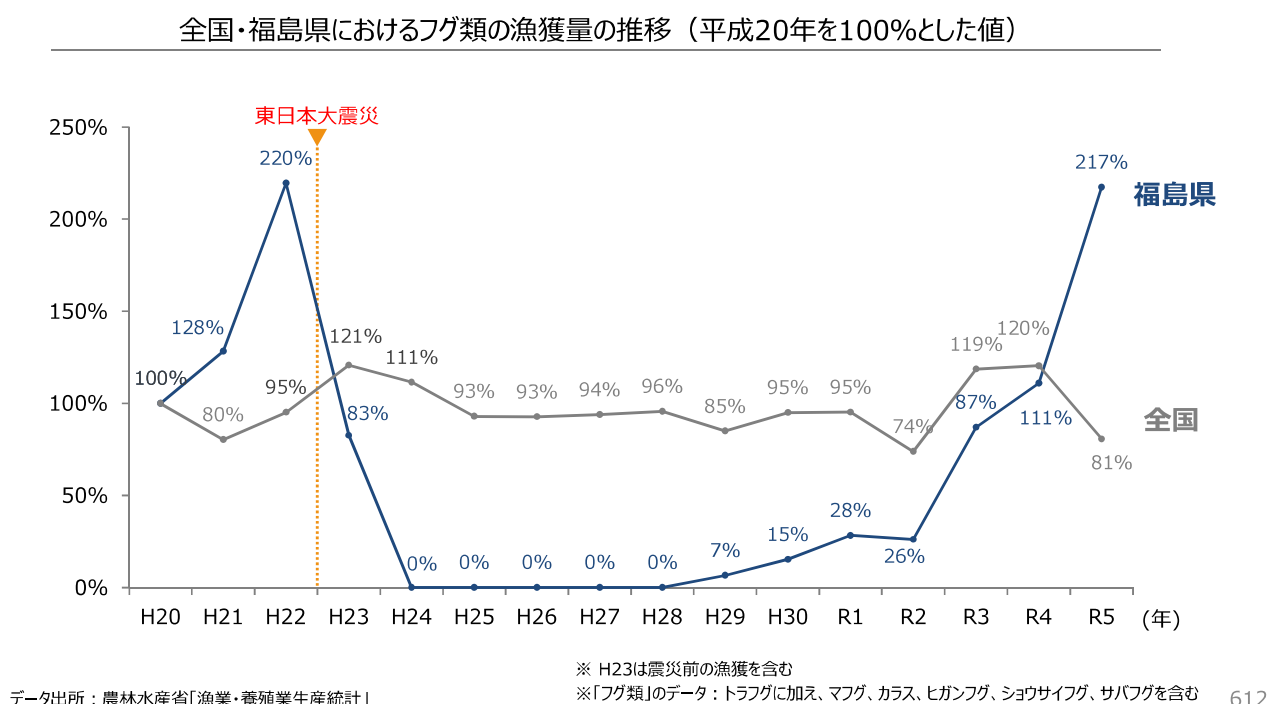
福島県のフグ類の漁獲量は、平成24年～28年はなかったが、平成29年以降徐々に増加し、令和5年には震災前の平成22年と同程度の水準となった。



611

全国と福島県におけるフグ類の漁獲量の推移

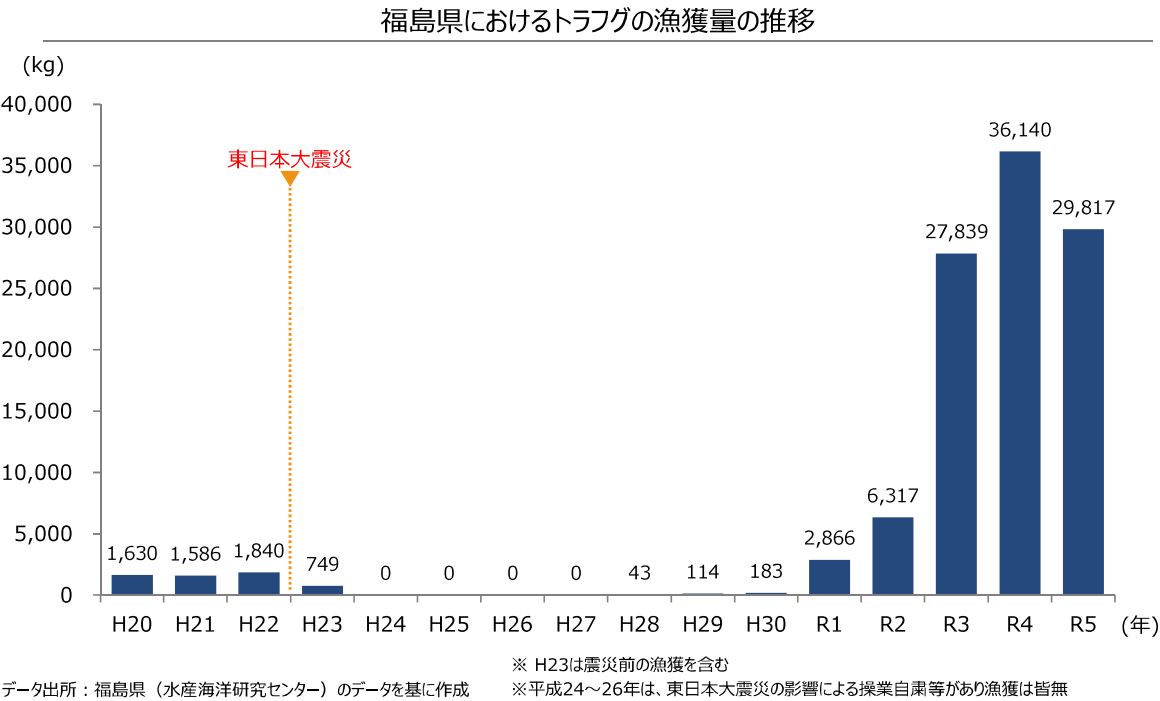
フグ類の漁獲量は、全国では令和3年・令和4年が平成20年の約120%まで増加していたが、令和5年は約80%と減少。福島県においては平成29年から増加傾向にあり、令和5年は震災以前の平成22年と同水準にまで回復している。



612

福島県におけるトラフグの漁獲量の推移

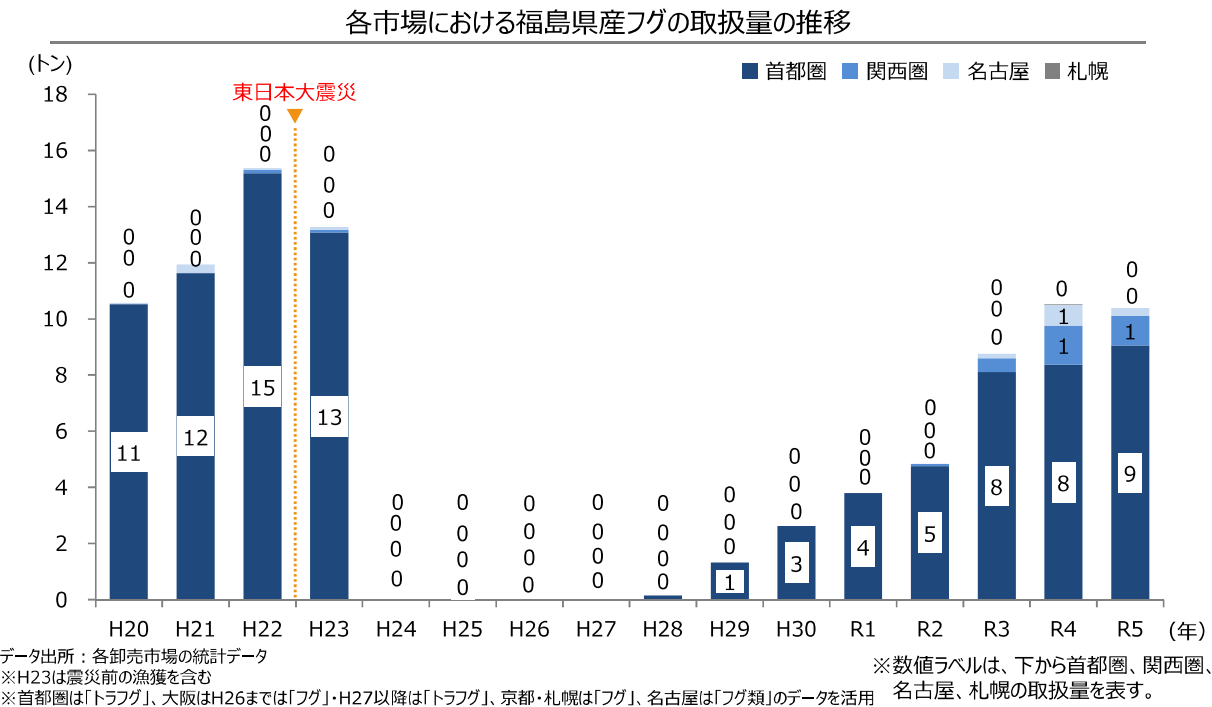
福島県のトラフグの漁獲量は、平成24年～27年はなかったが、平成28年以降徐々に増加し、令和4年においては、海流の変化や水温の上昇を背景に約36トンまで増加した。令和5年においては、約30トンの漁獲量となった。



613

各市場における福島県産フグの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産フグは、震災以降は平成28年より取扱いが開始され、令和3～5年に関西圏・名古屋・札幌で少量の取扱いがあるが、主に首都圏で取り扱われている。令和3年以降、取扱量は約10トンまで増加している。



614

各市場におけるフグの産地リレー(令和5年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、3月・7月～8月を除き年間を通して福島県産トラフグの取扱いが見られ（1％に満たない数量の月を含む）、10月～11月にシェアが3位であった。横浜市中心卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和5年産)

東京都中央卸売市場		トラフグのデータ												各月で市場シェア1位～3位の順に	
		■ ■ ■ で色付け													
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島		7%	0%	0%	0%	1%	1%	0%	0%	4%	19%	17%	9%	9	
千葉		34%	35%	46%	41%	16%	21%	20%	14%	24%	19%	27%	26%	45	
山口		24%	28%	18%	18%	16%	25%	14%	28%	10%	22%	24%	29%	34	
宮城		3%	2%	0%	2%	2%	12%	52%	4%	16%	20%	3%	2%	13	
福岡		12%	14%	13%	6%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	7%	7%	10	
総量		18	15	15	11	12	7	11	6	13	12	15	25		

横浜市中心卸売市場		トラフグのデータ												各月で市場シェア1位～3位の順に	
		■ ■ ■ で色付け													
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	1%	0%	0	
山口		41%	29%	32%	25%	51%	48%	51%	62%	54%	35%	56%	56%	7	
東京		29%	33%	43%	33%	7%	6%	1%	1%	2%	40%	26%	22%	4	
千葉		18%	11%	15%	19%	4%	4%	11%	4%	12%	10%	7%	9%	2	
福岡		11%	6%	8%	10%	24%	16%	18%	17%	15%	7%	6%	7%	1	
大阪		0%	0%	0%	3%	8%	21%	14%	15%	12%	2%	3%	4%	1	
総量		2	2	1	1	0	0	1	0	1	1	2	5		

※市場によって商品分類が異なるため、留意が必要。
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるフグの産地リレー(令和5年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では、6月～9月を除き福島県産トラフグの取扱いが見られた（1％に満たない数量の月を含む）。京都市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和5年産)

大阪市中央卸売市場		トラフグのデータ												各月で市場シェア1位～3位の順に	
		■ ■ ■ で色付け													
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島		1%	0%	0%	1%	2%	0%	0%	0%	0%	4%	3%	1%	1	
中国		55%	26%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	27%	43%	53%	57%	40	
長崎		16%	56%	72%	21%	41%	3%	4%	2%	2%	0%	5%	10%	17	
熊本		10%	4%	3%	5%	0%	0%	0%	5%	19%	6%	9%	12%	8	
大分		8%	0%	0%	4%	0%	0%	0%	9%	28%	21%	12%	9%	7	
山口		3%	7%	10%	12%	10%	21%	10%	8%	7%	10%	4%	4%	5	
総量		15	11	5	2	2	1	1	1	2	5	9	37		

京都市中央卸売市場		フグのデータ												各月で市場シェア1位～3位の順に	
		■ ■ ■ で色付け													
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
香川		47%	54%	4%	7%	0%	0%	0%	0%	15%	39%	41%	8%	27	
長崎		29%	5%	42%	2%	2%	5%	6%	0%	1%	0%	0%	30%	17	
山口		8%	3%	28%	56%	45%	11%	37%	7%	18%	12%	6%	9%	10	
熊本		1%	2%	4%	0%	14%	26%	37%	39%	33%	18%	20%	19%	10	
徳島		1%	1%	1%	3%	9%	8%	5%	3%	2%	3%	13%	12%	5	
総量		24	10	6	3	2	1	0	0	1	6	14	22		

※市場によって商品分類が異なるため、留意が必要。
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

名古屋市中央卸売市場では、福島県産フグ類の取扱いは10月～1月にかけて見られた。札幌市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和5年産)

名古屋市中央卸売市場

フグ類のデータ

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0
山口	21%	21%	30%	23%	33%	39%	40%	51%	49%	32%	20%	24%	26
熊本	33%	32%	29%	16%	6%	1%	2%	0%	0%	16%	16%	28%	23
鳥取	25%	20%	10%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	14%	19%	18%	15
愛知	9%	10%	3%	3%	3%	2%	3%	17%	19%	11%	22%	18%	12
三重	2%	2%	3%	4%	9%	21%	9%	8%	12%	4%	7%	5%	5
総量	14	12	9	6	4	3	3	2	3	7	11	28	

札幌市中央卸売市場

フグのデータ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	0%	0%	0%	11%	98%	100%	100%	100%	100%	97%	62%	1%	27
山口	91%	90%	92%	77%	1%	0%	0%	0%	0%	3%	34%	92%	3
福岡	8%	10%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	8%	0
秋田	0%	0%	0%	12%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
宮崎	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	1	1	0	0	1	11	1	0	10	4	1	1	

※市場によって商品分類が異なるため、留意が必要。
データ出所：各卸売市場の統計データ

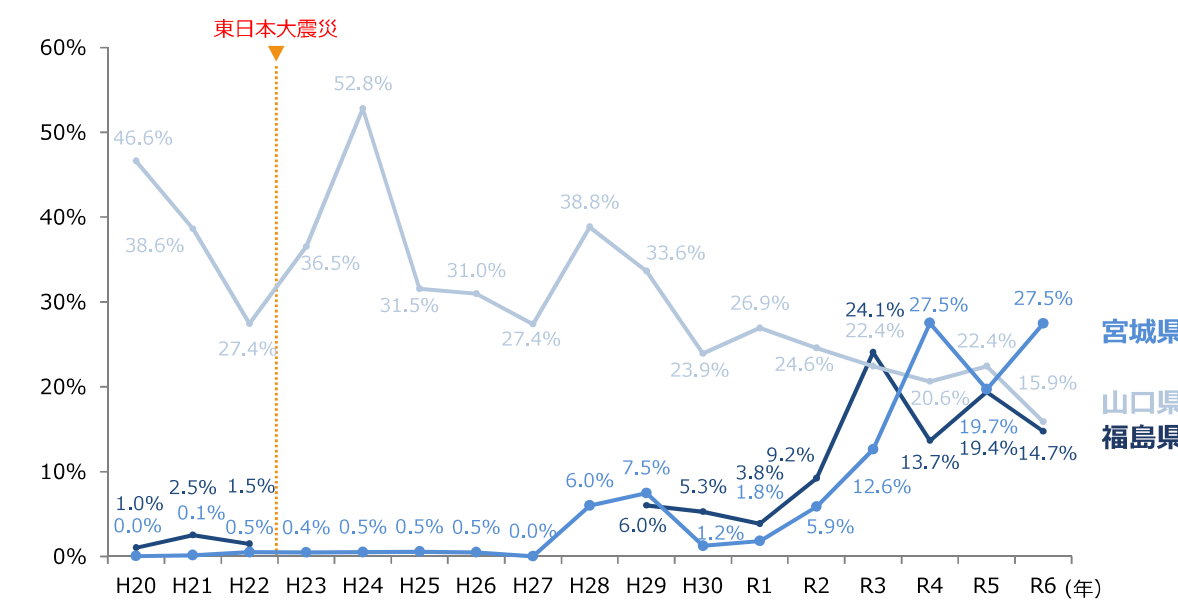
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

617

東京都中央卸売市場における福島県産トラフグのシェアの推移

東京都中央卸売市場における10月の福島県産トラフグのシェアは、震災後は震災前よりも高い水準で推移し、令和6年のシェアは約14.7%となっている。一方で、非常に高いシェアを誇っていた山口県のシェアは年々縮小傾向にある。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(10月)

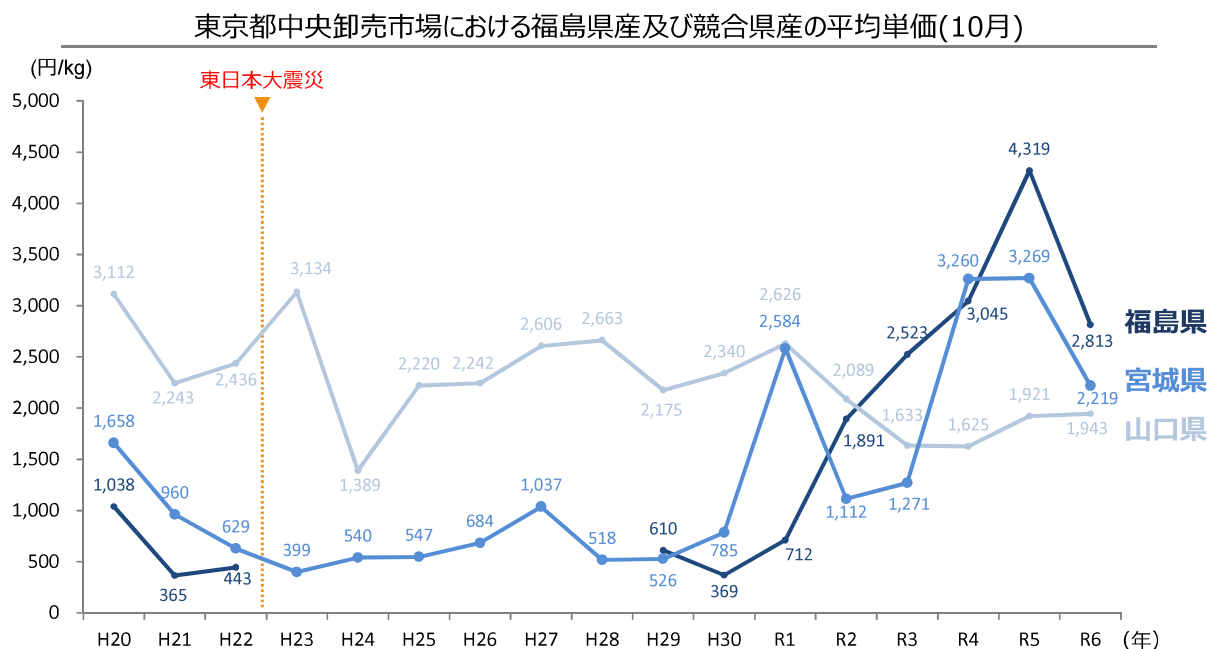


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」 ※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし

618

東京都中央卸売市場における福島県産トラフグの単価の推移

東京都中央卸売市場における10月の福島県産トラフグの平均単価は、震災後は震災前よりも高い水準で推移している。特に令和2年以降の伸びが大きく、令和6年は産地を問わず価格が落ち込んだが、令和5年・6年は山口県産・宮城県産の価格を上回っている。



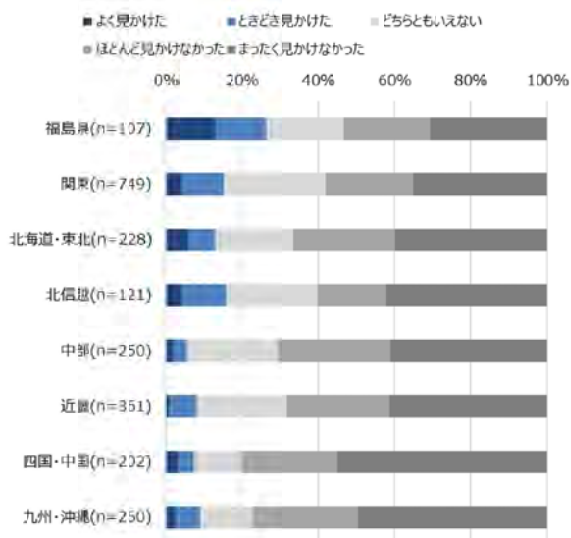
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」 ※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし

619

福島県産トラフグを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

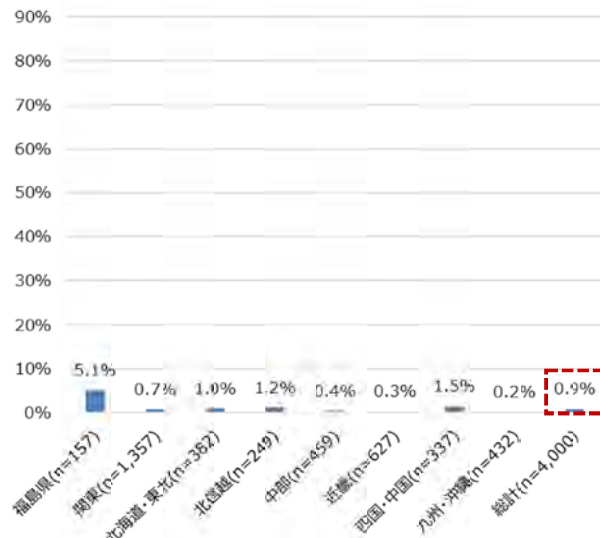
福島県産トラフグを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高かったが、福島県を含むその他の地域で15%に満たない。福島県産トラフグを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では0.9%であった。

福島県産トラフグを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産トラフグを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産トラフグの購入経験率

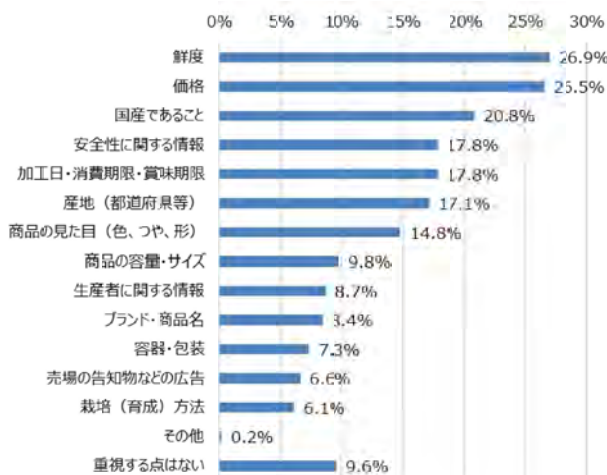


※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていた場合は購入経験なしとなる。

トラフグ購入時の重視点と福島県産トラフグの購入者の評価（消費者アンケート）

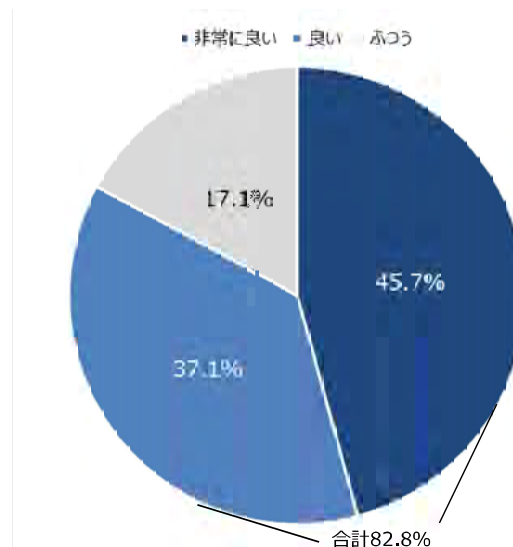
福島県産に限らずトラフグ購入時の重視点を尋ねたところ、「鮮度」と「価格」が上位にあり、次いで「国産であること」があがった。福島県産トラフグの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が82.8%であった。

トラフグ購入時の重視点（n=427、複数回答）



※トラフグ購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上トラフグを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産トラフグの購入者の評価（n=35）



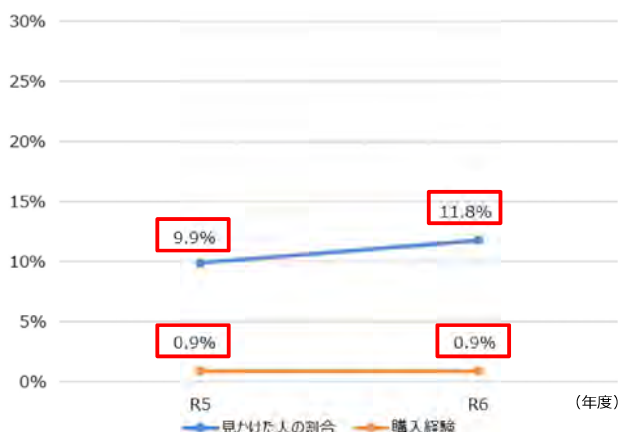
※福島県産トラフグを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「悪い」「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

621

福島県産トラフグを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

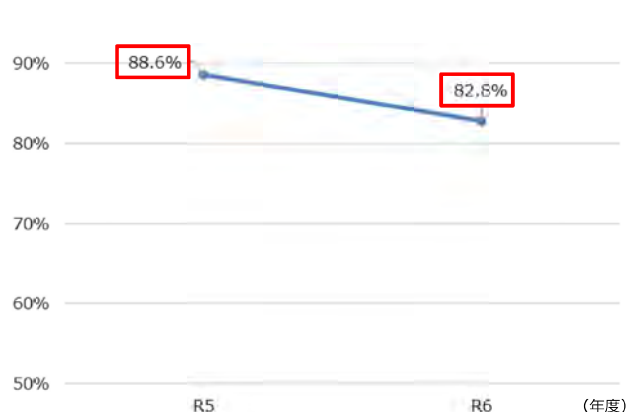
令和5年度と令和6年度を比較すると、福島県産トラフグを店頭で見かけた人の割合は1.9%ポイント上昇し、購入経験率は変化がなかった。福島県産トラフグの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は5.8%ポイント低下した。

福島県産トラフグを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産トラフグを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR5:2,539、R6:2,278。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR5:4,000、R6:4,000。

福島県産トラフグを高く評価している人の割合



※福島県産トラフグを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR5:35、R6:35。

622